

科目名称：	イラストレーション演習	
担当者名：	権田 宜子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
美術を学ぶには多くの分野があり、その表現技法は多種多様である。この授業では、色鉛筆を使用してイラストレーションを描き、毎回の授業で完成させる。教科書の演習課題から知識や技法を得ることで、色鉛筆から表現の可能性を広げ、作品の表現手段やアイデアを蓄積し、これからの制作に活用していくことが目的である。		
授業の達成目標・到達目標		
授業では色鉛筆を使って描くことが中心であり、教科書からテーマをもとにした課題が毎回出され、そこで学んだ知識・技法を深く理解しながら授業時間内で完成させることを目標とする。作品については教科書に色鉛筆で描き込んでいくが、授業時間外でも独自のイラストに各回学んだ技法で描くなど、復習することで画力の向上に努めてほしい。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP (2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP (4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	ルーブリック	合計
美術DP (1)					0
美術DP (2)					0
美術DP (3)					0
美術DP (4)			80	20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 権田宜子／加賀友禅染色工房（有）千紅	《経験年数1》 8年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解	アナログの技法について良く学び、よく理解することができる	アナログの技法について良く学んだが、少し理解することができる	アナログの技法のことは知っているが、理解までは至っていない	アナログの技法のことをあまりわからない
表現力	色鉛筆の技法をよく理解できたので、他の様々な画材も使ってみたい	色鉛筆の技法を理解できたので、機会があれば他の様々な画材も使ってみたい	色鉛筆の技法を少し理解できたが、他の様々な画材まで考えが及ばない	色鉛筆の技法をあまり理解しておらず、その表現についてわからない
知識	色鉛筆の種類や技法を知り、さらに知識を増やすために検索して調べた	色鉛筆の種類や技法を知り、他にもさらに学びたいと思う	色鉛筆の種類や技法を知っていても教科書の学びだけでいい	色鉛筆の種類や技法をまったくわからない
意欲	イラストレーションについてさらに追求し、技術を身につけたい	イラストレーションについてさらに追求したい	イラストレーションについて興味がある	イラストレーションは難しいと思う

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 基本の練習	色鉛筆の技法がどのようなものであるのか教科書で下調べしておく。各回で授業内で終わらなかった課題については、自習して完成させておくこと	40分
第2回 立体感の表現	教科書を読んで、立体表現について理解しておく	40分
第3回 質感の表現①	教科書を読んで、質感の表現について理解しておく	40分
第4回 質感の表現②	教科書を読んで、幅広い題材の質感の表現について理解しておく	40分
第5回 食べ物の表現【シンプルな題材】	教科書を読んで、食べ物の表現について理解しておく	40分
第6回 植物の表現【シンプルな題材】	教科書を読んで、植物の表現について理解しておく	40分
第7回 小物の表現【シンプルな題材】	教科書を読んで、小物の表現について理解しておく	40分
第8回 動物の表現【シンプルな題材】	教科書を読んで、動物の表現について理解しておく	40分
第9回 植物の表現【複雑な題材】	教科書を読んで、花びらの表現について理解しておく	40分
第10回 小物の表現【複雑な題材】	教科書を読んで、宝石の輝きの表現について理解しておく	40分
第11回 食べ物の表現【複雑な題材】	教科書を読んで、カラフルな食材の表現について理解しておく	40分
第12回 食べ物の表現【複雑な題材】	教科書を読んで、質感の違う食材の表現について理解しておく	40分
第13回 動物の表現【複雑な題材】	教科書を読んで、動物の毛の質感の表現について理解しておく	40分
第14回 人形の表現【複雑な題材】・自由課題	教科書を読んで、人形の表現について理解しておく。自由なテーマでイラストを描き、色鉛筆で完成させる	40分
第15回 自由課題のプレゼンテーション	これまで学んだ色鉛筆の技法をもとに完成した作品を発表し、プレゼンテーションをする	40分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。</p> <p>また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>課題作品 80%、授業への熱意・関心度 20%</p>		
課題に対するフィードバック		
各回の課題については教科書に色鉛筆で書き込むことから、学生には教科書作品をフィードバックし、指導教員からの評価をもとに今後の制作に活用させるようにする。		
教科書・参考書		
はじめての色鉛筆レッスンブック 河出書房新社 渡辺芳子		